

令和元年6月17日

洞爺湖町議会令和元年6月会議
教育委員会行政報告

番 号 件 名

- 1 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進総決起大会への参加について
- 2 各種事務事業の取組状況について

1 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進総決起大会への参加について

6月10日、参議院議員会館で開催された「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進総決起大会へ参加してまいりました。

大会には、関係する国会議員、知事をはじめ4道県と関係市町で構成する縄文遺跡群世界遺産登録推進本部（本部長：三村申吾青森県知事）などの関係者総勢約200名が出席し、本年度の国内推薦決定に向け、気運を大いに高めました。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」については昨年7月の文化審議会での国内推薦候補に選定されたものの、自然文化遺産候補の競合により見送りとなった経緯がありますが、今年1月の文化庁の文化審議会世界文化遺産部会で引き続き推薦候補とする基本方針が決まっているところから期待も大きく、さらなる関係機関の連携を深めてまいりました。

文化審議会は、例年7月に文化遺産の推薦候補を選定いたしますが、これまで同様に推薦候補に向けて万全な準備を整えて推薦候補決定を目指してまいります。

2 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告します。

(1) 中学生避難所開設体験学習会の開催について

今年で6回目となる町内中学2年生を対象とした避難所開設体験学習会を、6月4日に虻田中学校体育館で開催しました。

昨年度からは教育課程に位置づけて実施しており、今回も虻田中学校と洞爺中学校の合同授業として行いました。洞爺湖有珠火山マイスターの荒町美紀氏から2000年有珠山噴火での避難所体験の講話を聞いた後、生徒たちは避難者班5班、役場職員班1班に分かれ、班毎にロールマットを敷いて、居住スペース設営や簡易ベットや食卓テーブルの組み立てを行いました。

避難所運営では食事の支給も大切であり、職員班がアレルギーにも考慮し、数種類の弁当を班毎に平等になるように仕分けを基に昼食をとり、午後からは避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」も行い、様々な課題が出てくる中で、避難所の運営について班毎で討議しながら真剣に取り組んでいました。

生徒たちは、一日がかりの学習を通し、噴火時の対応、避難所での行動を意欲的に学びました。また、6年目を迎え、この取組が知られるようになり、支援者（ダンボール製食卓テーブル・簡易トイレの寄贈）や参観者も増えていました。

有珠山を有する当町の防災学習の具体的取組を今後も支援してまいります。

(2) 洞爺湖町少年の主張大会の開催について

6月7日、洞爺湖町役場を会場に洞爺湖町青少年健全育成連絡協議会が主催する「洞爺湖町少年の主張大会」が開催されました。

会場では虻田中学校、洞爺中学校の両校から選抜された生徒6名が、東日本大震災の被災体験を通じた日常の生活の大切さや、人と関わる上での言葉の大切さなどについて、堂々と落ち着いた態度で自分の意見を発表し、会場に集まった約50名の方々は熱心に聞き入っていました。

今回、最優秀賞に輝いたのは洞爺中学校3年生の高橋佑輔さんで、「自分自身変わる人」をテーマとして自らの実体験をもとに、学校への関わりの中で仲間や家族らの支えに感謝し、自分も人を励まし勇気づけられる人になりたいとの内容を述べたものであります。

なお、高橋佑輔さんは7月19日に開催の「少年の主張胆振地区大会」に洞爺湖町の代表として出場することとなっています。

(3) 保育所入所状況について

平成31年4月末日現在の保育所入所児童数は、次のとおりです。

なお、他市町村からの広域入所児童は2名（他市町村への広域入所1名）となっています。

(単位：人)

保育所名		定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	障がい児	計
常設	本町保育所	60	—	4	6	5	4	9	0	28
	入江保育所	90	—	5	9	8	7	6	—	35
	桜ヶ丘保育所	60	5	3	7	4	8	4	—	31
	洞爺保育所	35	2	4	7	5	6	5	—	29
合計		245	7	16	29	22	25	24	0	123

※広域入所者は含まない。

(4) 放課後児童クラブの入所状況について

平成31年4月末日現在の放課後児童クラブの入所児童数は、次のとおりです。

(単位：人)

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
風っ子	18	10	7	3	0	0	38
洞爺湖 クラブ	4	0	2	5	3	4	18
とうや 児童クラブ	4	6	2	1	2	0	15
合計	26	16	11	9	5	4	71